

国家公務員採用試験一般職（大卒程度）受験予定者の皆様へ

近畿中国森林管理局

で働いてみませんか！

先輩職員からのメッセージ

Y さん(平成29年採用 一般職(大卒程度)林学)



【現在取り組んでいる仕事】

昨年度までは、総務グループで総務・経理の担当として、署の運営に必要な業務を幅広く行っていました。今年度からは、業務グループの森林経営・ふれあいの担当となり、森林や林業に関する体験学習、県及び市等主催のイベントで森林整備や木材の良さのPR 活動等のふれあい業務を主に行っています。特に、多くの子どもに喜んでもらえたときが、今後の仕事の原動力になります。そのほか、自然保護センターと共同で行っているニホンジカの生息状況調査の担当もしています。

【職場の雰囲気】

ほかの森林管理署に比べると職員は少なく16 人ですが、アットホームな雰囲気があり、職員同士のコミュニケーションがしっかりとれ、肩肘張らずに業務に集中できる点が良いです。

【林野庁の魅力】

日本の面積の約2割が国有林ということもあり、各地域の様々な森林・林業に仕事で携われることが魅力的な点でもあり、自分にとっても良い経験になっています。まだ採用されて4年目ですが、森林管理署が進めている森林・林業を通じて地域を活性化する取り組みに関わることで、自分も成長していきたいです。

N さん(令和2年採用 一般職(大卒程度)土木)



【現在取り組んでいる仕事】

新規採用者として森林管理署に配属され、森林育成・土木を担当しています。国立公園大山周辺にてナラ枯れが深刻化しており、被害木の処理、防除に係るカシノナガキクイムシ対策事業に従事しています。現場では、ナラ類の大径木が枯れている所を確認し、倒木の危険があると感じました。そのほか、植栽木保護のためのシカ防護柵設置箇所の検討においては、設置時だけでなくその後のメンテナンスも考慮しなければならず、とても難しい業務だと感じています。

【職場の雰囲気】

「報・連・相」がしっかりしており、分からないことは上司に聞ける雰囲気があり、丁寧に教えてくれます。とても真面目な方が多いですが、休憩時には世間話をしたりして職員間のコミュニケーションを取っています。

【林野庁の魅力】

週に1回程度現場に出るので、山を歩いたり自然の中にいることで仕事の中でも気分転換が出来ます。そのことが、署の内勤にも良い影響を与えていると感じることがあります。現場で感じたり学んだりしたことが図面上や書類において整理できるととても楽しいです。

T さん(平成30年採用 一般職(大卒程度)林学)



【現在取り組んでいる仕事】

私は今年で入庁三年目になります。「百年後の日本人に、生物の豊かな自然をつなげたい。」という思いで入庁しました。今の担当は森林経営と森林計画です。森林経営は国有林で管理している立木を調査、販売をする、木材の供給に係る仕事です。そして、森林計画は、国有林をどのように管理していくかを決める仕事です。図面やデータを見て考えることもありますが、基本は国有林の現場を見ながら考えます。また、林内を歩くと、急傾斜地があったり、マムシがいたりと様々な危険に出会います。ただ、山で食べるお弁当はとてもおいしいです。

【職場の雰囲気】

林野庁では様々な研修やプロジェクトが行われています。それらの多くは、年齢や担当に関係なく参加でき、特に若い人は背中を押してもらえ、雰囲気があります。私のような新人でも「行ってきていいよ」と言ってもらえることが多いです。そのおかげで、幅広い技術や知識を学び、活用しつつ仕事に取り組んでいます。

【林野庁の魅力】

林野庁の魅力はタイムスケジュールが壮大であることです。グローバルな取組であるSDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)を踏まえて、今と未来をつなぐ政策を考えることもあれば、百年以上前に先人が残した図面を広げることもあります。

O さん(平成29年採用 一般職(大卒程度)行政)



【現在取り組んでいる仕事】

給与係の係員として、職員の方それぞれの生活実態に応じた給与を支給するための計算業務などを行っています。今の仕事柄、山に行く回数は少ないのですが、小学生を対象にしたふれあいイベントにOJTの一環として参加したりなど、外へ行く機会も色々あり、担当している業務以外についても知れたり実際に経験できたりするので充実した日々を送っています。

【職場の雰囲気】

ささいなことを質問していると自分が思っているよりも案外そんなことはなく、優しく受け答えして下さる雰囲気があります。また、行政職だから林学を知らないから大丈夫なのかなと不安になるときが今でもたまにあります。想いを込めて教えて下さいますし研修もたくさんあるので安心してます。

【林野庁の魅力】

入庁したら行政職・技術職の試験区分問わず、山に行って現場業務や各種イベントの参加・企画に携われたり、事務仕事をしたりと様々な仕事を幅広く経験できる場所です。私自身「林野庁」という文字だけを見て「苗木を植えて育てて管理する」といった、森林のことだけを仕事として考えていると入庁するまで思っていました。森林のこと以外にも本当にたくさんのかかせない仕事があることを体感でき、面白いです。専門とする仕事をし続けるのもよし、色々経験してバラエティにとんでもよし。自分らしく働ける環境があるところに魅力を感じています。

N さん(令和元年採用 一般職(大卒程度)行政)



【現在取り組んでいる仕事】

森林事務所の係員として、国有林の巡視や貸付事務を担当しています。森林事務所に勤務していることから、実際に国有林の現場に行って業務を行う機会は多くあります。病虫害にあつて枯れてしまった木を調査したり、降雨によって被害を受けた林道の現地調査を行ったりと、様々な業務を経験することができています。また、比較的都市近郊にある国有林を所掌する事務所なので、関係官公庁や地元住民の方とやり取りをする機会も多く、とても勉強になっています。

【職場の雰囲気】

何か分からないことや困ったことがあった時に相談しやすい雰囲気だと思います。私は大学では生物化学を勉強していた林業・林学については知識がない状態で入庁しましたが、一つ一つの仕事について丁寧に教えていただけたり、声をかけていただけたりするおかげで仕事をする事ができています。

【林野庁の魅力】

山と人とのつながりを、他では見ることのできない多様な角度から経験できることだと思います。植えて育てて伐って出すという林業的な側面もあり、また災害から山と人を守る治山的な側面もあります。日本中に広く国有林というフィールドを有しているという特徴から、地域ごとに異なる山林や人の営みを見ることができます。

T さん(令和元年採用 一般職(大卒程度)行政)



【現在取り組んでいる仕事】

私は業務グループで国有林と民有林の境界を管理する「測定」という仕事を担当しています。国有林の境界を示す境界標の容態を把握し、異状があるときは正常な状態に戻す作業をすることが主な業務の一つです。最近では不明になった境界点を現地に再現する検測という作業に携わり、測量から標識の埋め戻しまですべて自分たちの手で行ったことに達成感を覚えました。測定の仕事以外にも、OJTとして様々な業務に同行させてもらっているため、いろいろな現場を見ることができてとても興味深いです。

【職場の雰囲気】

とても話しやすい職場です。私は林業について全く勉強したことがない状態で入庁しましたが、今なんとか仕事ができているのは、周りの方々が現場や所内で丁寧に教えてくださるおかげだと思います。また、森林の調査などで現場での作業に人数が必要なときは、担当業務に関わらず積極的に協力し合える雰囲気があります。

【林野庁の魅力】

山に入って空の下で仕事ができることです。もちろん事務所内での仕事も勉強になることばかりですが、山で実際に現場を見ると、現在だけでなく何十年も先の将来にも自分たちの仕事が繋がっていくのだと実感できます。林内を歩くので何度も転んで打ち身を作るときもありますが、しっかり歩いて体を動かした後に外で食べるご飯は最高です。

よくある質問にお答えします

Q1) 試験区分によって担当業務が限定されますか。

A) 試験区分により担当業務が限定されることはありません。林学、行政の区別なく、局又は署等で仕事をしてもらっています。

Q2) 採用時の配属先はどう決定されるのですか。

A) 採用時の配属先は、行政区分の方は試験地域内、その他の試験区分の方は、面接カードに記載された希望を参考にしながら配属先を決定します。

Q3) 採用後は、全国異動となるのですか。

A) 人事異動については、基本的に全国異動となりますが、配属先は、本人の希望や適性を見ながら決定しています。

Q4) 林学の知識がありませんが業務に支障はないですか。

A) 林野庁には充実した研修のシステムがあり、必要な知識を習得しながら業務を行っているので、心配はありません。また、実際に林学の知識が無い方もたくさん採用しており、皆さん活躍しています。

Q5) 体力に自信が無いのですが業務に問題はありませんか。

A) 森林のパトロールや収穫調査、境界の見回りなどの業務を行っていただくこととなりますので、普通の山を歩く体力は必要です。なお、山を歩く体力は、ある程度慣ればついてきますので心配ありません。

Q6) 林野庁には女性職員はどのくらいいますか。

A) 全職員の割合でいうと1割くらいですが、最近の採用状況は、女性職員が3割くらいと増えています。今後、男性職員が多い高年齢層が退職するため、大幅に増加する見込みです。

Q7) 林野庁の仕事と環境省の仕事はどのように異なるのですか。

A) 林野庁は、国土の面積の2割を占める広大な国有林の管理・経営の仕事を主に行っています。山（国有林）に木を植え、育てて、伐採し、木材を販売する林業の仕事に従事できる一方、貴重な森林生態系や生物群集からなる国有林を保護し、モニタリングする仕事や、民家や施設を土砂崩れから守る治山事業など森林に関する様々な仕事を現場で自らの手で実現できます。また、民有林の整備、木材の有効利用等の国有林以外の森林・林業に関する幅広い行政に従事することができます。

一方、環境省のうち、特にレンジャーの仕事は、国立公園の管理、野生生物の保護などが中心であり、森林のみを対象としておらず、林業・木材産業などの産業政策とは目的を異にしています。

【お問い合わせ先】

近畿中国森林管理局 総務課

TEL : 06-6881-3421